



2020・1・21

第 362 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 宣伝・対話大きく広げ安倍退陣への道筋を

### 新署名使った取り組み広がる

【札幌市西区／琴似9条の会】 琴似9条の会は9日、地下鉄琴似駅前で、「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を買い物客に呼びかけました。

手作りの横断幕「子どもたちに平和を」や「ヒタヒタと近づく戦争の足音」「9条を守れ」「9条は日本の誇り・世界の宝」と書いたプラカードを持って訴え。

「平和憲法を守る署名です」の声に立ち止まった女性は「戦争しないと誓った憲法があるのに戦争になるのではないかと心配です」と署名しました。「戦争したがついて安倍首相は大嫌い」と怒り、ペンを握る男性もいました。

「先生が『憲法は大事』と教えてくれました」と中学3年の男子生徒。小学1年の妹も「戦争なんてしてはいけない」とつぶやき、母親と3人そろって署名しました。

87歳の女性は「アメリカがイランに先制攻撃し、戦争を仕掛けるとはとんでもない。第3次世界大戦になると怖い」と憤ります。「平和でいられるのは、憲法があっ

### 九条の会事務局主催学習会

#### 安倍改憲のねらいと危険性

◎日時 2月27日(木) 18時30分～21時

◎会場 文京区民センター 3-A会議室

丸ノ内線・南北線「後樂園駅」

都営三田線・大江戸線「春日駅」

◎講演

・「安倍改憲のねらいと危険性—自衛隊明記論を中心として」

山内 敏弘 (一橋大学名誉教授・九条の会世話人)

・「安倍改憲をめぐる新たな情勢と阻止のたたかい」 渡辺 治 (一橋大学名誉教授・九条の会事務局)

<講演の後、質疑時間を若干とります>

◎参加費 1,000円 学生300円

て戦争しないできたからです」と会員としてしばらく対話が続きました。

### ウソと隠べいの安倍政治もうたくさん

【青森県／青森県九条の会】 青森県九条の会は14日、新署名を呼びかける街頭署名行動を青森市の商店街で繰り広げました。

うそと隠ぺいの安倍政権の退陣を求めて市民が次々と足を止め、30分の行動で35人が署名しました。

行動には、「全国首長九条の会」のメンバーの一人、元青森市長で現県議の鹿内博氏ら18人が参加、「改憲阻止の声を一緒に広げてほしい」と訴えました。

署名をした40代の男性は、「安倍政権を退陣させたいし、憲法9条を守りたい。今、野党が一緒になって、たたかっているのが良い」と笑顔で語りました。

ペンを握った女性(60代)は、「あの人(安倍首相)には、苦情と怒りしかない。とくに、憲法を変えるのは絶対ダメだと思っているので、署名をやらないわけにはいかないでしょ」と力をこめました。

「付度(そんたく)と言い訳ばかりの政治は信用できません」(70代)、「憲法を変えるより安倍さんを代えたい」(72歳)と改憲反対や安倍政権退陣を言い、署名する女性たちの姿が見られました。

### 自衛隊の中東派兵をやめさせよう

**【長野県松本市／憲法9条を守り広げる松本地域連絡会】** 長野県の「憲法9条を守り広げる松本地域連絡会」は9日、松本駅前で、改憲発議反対の新署名に取り組みました。地元の九条の会、新日本婦人の会のメンバーら約20人が参加しました。

参加者は「戦争NO」などと書いた横断幕を掲げながら、リレートークしました。緊迫する中東情勢の下、自衛隊派兵を決めた安倍政権を批判。「改憲を必ず成し遂げると発言する安倍首相に、絶対憲法をいじ

らせてはなりません」と新署名への協力を呼びかけました。

約1時間で32人が署名。「武力では何も解決しないから」と署名に応じた若い男性もいました。

**【愛媛県／憲法9条を守る愛媛県民の会】** 愛媛県民の会は9日、松山市の繁華街、大街道一番町口で宣伝し、新たに提起された「緊急署名」に取り組みました。

森英二事務局長は米国によるイラン高官の殺害について「国際法と国連憲章に違反する」と批判。イランの報復にもふれ、関係者の自制を求めました。また、自衛隊の中東派兵の即時撤回を求めました。

署名した市内の女性(74)は「自衛隊にも次の世代にも戦争をさせたくありません」と話しました。

### 3000万署名の成果踏まえ決意新た

**【東京都江戸川区／九条の会葛西】** 『安倍9条改憲NO! 3000万署名』のスタートが2017年10月。賛同者の皆さんに署名のご協力をお願いし署名を広げてきました。

1人で駅頭署名に取り組んだ方、友人・知人に広げて届けてくださった方、4回も封書で届けてくださった方、集合住宅での署名活動に協力してくださった方、多くの皆さんのご協力で、2412筆の署名を集めることができました。

このような私達の運動や野党統一の力で、憲法審査会を開かせず条文提出も許しませんでした。これは大きな成果だと思います。安倍首相は国会審議から逃げ回っていたにもかかわらず、年頭の記者会見で、20日召

集予定の通常国会で、「改憲案の策定を！」の執念をあらためて表明しました。

新署名『改憲発議に反対する全国緊急署名』が提起されました。

この緊急署名を多くの国民の中に広げ、「改憲発議」を断念させ、安倍内閣退陣への道筋をつけていきましょう。

(「九条の会葛西だより」153号)

## 新成人を祝い、対話と署名

**【岡山県高梁市／高梁9条の会】** 高梁9条の会は1月12日、市主催の成人式会場(総合文化会館)前で164回目の共同行動(毎月行っている宣伝・対話・署名活動)を行い、新成人に「おめでとう」のお祝いのチラシを渡しながら、安倍9条改憲N O!国会発議反対の新署名とシール投票を訴えました。行動には、時光重孝・井上寛代表世話人をはじめ会員17人が参加。

「9条に自衛隊を書き加える」改憲の賛否を問うシール投票には49人が参加、反対47%、賛成6%、わからないが47%でした。署名も40人から寄せられました。

新成人の中には「平和が一番です」と署名する男性。「9条は大切よ」と同伴の母親に署名を勧められる新成人の女性。また、高梁の会社で働いているインドネシアの若者も、会員からの「日本は憲法で戦争しないことを決めています」などの説明に応え、「戦争はイケマセンから」とシール投票や署名に答えていました。

行動のあと、署名を訴えても「大丈夫です」などと通りすぎ、一見「無関心」のような新成人も多かったが、「決して無関心ではなく正確な情報が届いていないためだ

と思う。今後も各戸訪問の署名活動とともに、若い人も参加できる学習合も開こう」などと積極的な感想や意見が語られました。

なお、今年の高梁市の新成人は441人で、当日の参加者は212人でした。

毎月行っている次回の共同行動では、2月22日(土)に落合町阿部地域を各戸訪問する予定です。これまで会に託された署名累計は13,183人で、目標(有権者の過半数)の94%に達しています。

(高梁9条の会事務局・小阪洋志記)

## 平和な未来を皆さんの力で

**【神奈川県南足柄市／南足柄・九条の会】** 12日、南足柄市文化会館で成人式が行われ、新成人に当会のメンバー8人で、「九条の会」リーフレットと当会発行のチラシ「2020年新成人のみなさん、おめでとうございます」をセットで配り、250人の新成人に受け取って頂きました。

今年の出席者は350人(対象者は422人)ですが、他の道を通ってくる新成人もあり、なかなか全員とまではいきません。毎年配っていますが、今年は受け取ってくれる新成人が多く、拒否した人はそれ程多くはありませんでした(受取率71%)。

このチラシには、副題として「未来は皆さんもの！一人ひとりの力で政治を変えることができます」と記し、南足柄市が1985年に核兵器廃絶平和都市宣言を採択したことや、市庁舎正面玄関左横にある「平和の像」なども写真入りで載せています。

話のとっかかりに、憲法9条を知っていますかと聞くとほとんどの新成人は「知っている」との返事。さらに南足柄市の宣言

や平和の像のことを知っていますかと聞くと、「知らない、学校で教えてくれませんか」などという返事がほとんどでした。

当会は2006年に結成し、毎月、大雄山駅前前で訴えをしていますが、2015年9月19日の戦争法成立強行以降毎月2度になりました。これからも宣伝活動をして、若い人たちにもどんどんコミットしていきたいです。  
(南足柄・九条の会 事務局杉山充二)

## 日韓問題の歴史的意味再認識

【東京調布市／調布九条の会】 調布九条の会「憲法ひろば」は1月13日に第153回例会を開催。日韓問題に焦点を当て、日弁連人権擁護委員会副委員長、元徴用工の韓国大法院判決に対する弁護士有志声明の呼びかけ人の川上詩朗さん、元歴教協委員長で「憲法ひろば」世話人の石山久男さん、お二人とも調布在住、のお話を聞きました。70人が会場に溢れました。

例会では、川上さんが「徴用工判決と日韓関係」をテーマに問題とされている請求権、日韓基本条約及び日韓請求権協定の内容、徴用工問題の解決の方向について話されました。また石山さんは、徴用工問題と日韓関係をテーマにその歴史的背景をどうとらえるか、3・1独立運動、植民地支配の戦後処理・補償と在日コリアンの処遇、植民地意識の欠落を示す日本国民の他人意識、について話されました。

参加者からは、次のような感想がよせられました。

○慰安婦問題は学習の機会がありました。徴用工問題については、今まで学習の機会がなく、川上先生のお話は貴重でした。

○今回の問題は、歴史的にきちんと学ぶことなく70年余、この間の日韓関係の理解を難しくしている、と常々感じていた。しかし、根本は人権侵害をした侵略にある。日本（政府）は責任を取らない国だ。恥ずかしい。とても勉強になりました。

## 平和の危機には国民が闘う責任

【東京荒川区／千住九条の会】 1月12日 伊藤千尋氏講演会「15%が社会を変える 憲法九条が生きる世界をめざして」を開催しました。

伊藤氏は、はじめに「世界が求める日本の平和憲法」として、アフリカ沖の島とトルコの町に日本国憲法9条の記念碑があることを紹介し、9条は日本人のみのものではない、世界中の平和を望む人々のものであると述べました。その9条に自衛隊が明記されたら、国軍となり、米軍と共に世界中に派遣される。

コスタリカは日本に次いで2番目に平和憲法をつくり軍隊をなくした国。コスタリカは30%の軍事費を教育予算に変えた。幼稚園から高校まで無料、大学も70%が奨学金で奨学金は返済不要である。

そしてコスタリカの大統領を憲法違反で訴えた大学生ロベルト・サモラさんを紹介。彼は「憲法が危機に陥ったとき、国民には闘う責任がある」と言った。我々日本人の胸にくる言葉だ。平和は黙っていてもできるものではない、我々が平和をつくる世界的役割がある。

伊藤氏の現地の生の声を伝える説得力のある力強いお話に元気と勇気をいただきました。  
(千住九条の会 中田 順子)